

報道関係 各位

全国環境保全型農業推進会議  
事務局 一般財団法人日本土壌協会

**環境に配慮した農業生産活動に意欲的に取り組む農業者・団体を表彰**

**「第18回環境保全型農業推進コンクール」の実施結果について**

**全国から63事例の応募、2点が農林水産大臣賞、6点が農林水産省生産局長賞を受賞**

全国環境保全型農業推進会議は、平成25年2月19日、「第18回環境保全型農業推進コンクール」（後援：農林水産省等）の各賞受賞者を決定しました。

本コンクールは、有機農業をはじめとする環境保全型農業において、経営や技術の改善に取り組み、農村環境保全を通じて地域社会の発展に貢献している農業者・団体を表彰し、その成果を広く紹介して環境保全と農業に対する国民の理解を深めるために、平成7年度から毎年実施されています。

第18回は全国から63事例の応募があり、うち48事例が各都道府県の環境保全型農業推進協議会等から全国環境保全型農業推進会議に推薦されました。

審査の結果、特に優良と認められる事例2点が「大賞（農林水産大臣賞）」、最も優良であると認められる事例6点が「最優秀賞（農林水産省生産局長賞）」、優良と認められる事例14点が「優秀賞」、今後の展開が期待される事例24点が「奨励賞」として表彰されます。

また、新規就農者の確保や後継者育成の面から環境保全型農業の拡大・推進に資すると判断される高等学校において取り組んでいる事例2点が「特別賞」として表彰されます。

表彰式は各地方ブロック協議会ごとに開催され、「大賞」には農林水産大臣賞をはじめ各賞が授与されます(別紙参照)。

(参考) ホームページ URL: <http://www.ecofarm-net.jp/04contest/index.html>

**【問い合わせ先】** 全国環境保全型農業推進会議事務局  
一般財団法人 日本土壌協会 担当：松尾  
電話 03-3292-7281 F A X 03-3219-1646  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-58  
パピロスビル 6 F

## 第 18 回環境保全型農業推進コンクールの審査結果並びに講評

平成 25 年 2 月 19 日

第18回環境保全型農業推進コンクールでは、全国から環境保全型農業及び有機農業に取り組む 63 事例の応募があり、うち 48 事例が各都道府県の環境保全型農業推進協議会等から全国環境保全型農業推進会議に推薦されました。これらの推薦事例を審査した結果、その取組内容が特に優れていると認められる事例2点を「大賞」、最も優良であると認められる事例6点を「最優秀賞」、優良であると認められる事例 14 点を「優秀賞」、今後の展開が期待される事例 24 点を「奨励賞」、新規就農者の確保や後継者育成などの観点から環境保全型農業・有機農業の推進を促進すると判断される高等学校において取り組んでいる事例2点を「特別賞」とすることとしました。

### ◎ 大賞（農林水産大臣賞）

#### ○ 秋田県「ポークランドグループ」（環境保全型農業分野）

地元JAと連携して耕畜連携による地域・資源循環型農業を実践し、BMW 技術を導入・活用した家畜排泄物の堆肥化等による農地還元を実践し、安全・安心な「桃豚」の生産と、飼料用米の作付けによる休耕田の解消、耕作放棄地等への放牧等による地域農業の振興や環境保全型農業の推進に取り組んでいることが高く評価された。

（\*BMW 技術とは、B(バクテリア)、M(ミネラル)、W(水)の略で、土中のバクテリアと石のミネラルで、汚水を浄化する技術。）

#### ○ 福岡県「<sup>あいがもかぞく</sup>合鴨家族 <sup>ふるのうじょう</sup>古野農場」（有機農業分野）

レンゲ草等の緑肥、籾殻・合鴨糞・鶏糞等の有機物の堆肥化による土づくりと合鴨農業技術を導入した合鴨水稲同時作7ha、水田輪作での野菜、裏作での小麦、ばれいしょ、たまねぎ等2haの大規模な有機農業経営を確立していること、世界経済フォーラム年次会議(ダボス会議)や国内の合鴨水稲会での講演等を通じた有機農業の推進活動への取組が高く評価された。

◎ 最優秀賞（農林水産省生産局長賞）

○ 北海道「有限会社 <sup>おおまきのうじょう</sup> 大牧農場」（環境保全型農業分野）

特殊な排水不良の土地条件を克服し、近隣畜産農家と連携した自家堆肥化による土づくりと計画的な輪作体系を導入した減化学肥料、減化学農薬の取組を実践していること、GAP を導入した生協との産直活動による販路確保とエコファーマー認定農業者による 405ha の大規模な環境保全型畑作農業経営の確立に取り組んでいることが高く評価された。

○ 青森県「<sup>ときわむらようけい</sup> 常磐村養鶏 農業協同組合」（環境保全型農業分野）

鶏糞を活用した堆肥づくりによる飼料用米生産農家への供給と、採卵鶏飼料の自給率向上を図るための飼料用米配合飼料化による資源循環型の環境保全型農業を実践していること、飼料用米生産農家 412 戸・712ha と3箇所の養鶏場及び鶏卵の主販売先である生協との協議会を設立し、耕畜連携により水田農家、養鶏場の経営の安定化等に取り組んでいることが高く評価された。

○ 山形県「<sup>しとう</sup> 志藤 <sup>しょういち</sup> 正一」（有機農業分野）

家畜排泄物（豚糞）と籾殻等を用いた堆肥づくりによる土づくり、土着菌を活用したぼかし肥料の製造・施用とともに、紙マルチ移植、合鴨による除草技術等の導入によって水稻・枝豆・養豚の耕種と畜産の複合経営を確立していること、地域の稲作中心農家 10 戸との農事組合法人を設立し、生協を中心とする販路確保に取り組んでいることが高く評価された。

○ 滋賀県「<sup>おいそちいき</sup> 老蘇地域 集落営農連絡協議会」（環境保全型農業分野）

4 つの営農法人による協議会を設立し、地域内の家畜排泄物を利用した堆肥づくりによる耕畜連携と、土壌診断に基づく適正施用による琵琶湖への農業排水の負荷軽減への取組、滋賀県版GAPに取り組んだ化学肥料、化学合成農薬の 5 割削減の「環境こだわり農産物」認証取得と 4 法人のエコファーマー化に取り組んでいることが高く評価された。

○ 愛媛県「<sup>ながお</sup>長尾 <sup>けんじ</sup>見二」（有機農業分野）

鶏糞(採卵鶏3千羽)と自家製籾殻による長期熟成堆肥の施用による土づくりと油粕と米糠のペレット肥料の製造・施用による化学肥料と化学合成農薬に頼らない安定的な有機農業経営を確立していること、コストに見合った販路を確保するための農家と消費者が共同して組織する愛媛有機農産生活協同組合のリーダーとしても活動していることが高く評価された。

○ 大分県「株式会社 <sup>たかはしせいちや</sup>高橋製茶」（有機農業分野）

整剪枝作業で生じた枝葉の敷きつめによる保水性の向上と土づくりや油粕と魚粕主体の有機質肥料の施用による土壌微生物の活性化と昆虫等の生物多様性の確保への取組を実践していること、病虫害のこまめな観察による適切な整剪枝の実施により生産安定を図っていること、小中学校生との交流等により地域の食育・環境教育に取り組んでいることが高く評価された。

◎ 優秀賞

（全国環境保全型農業推進会議会長賞・全国農業協同組合中央会会長賞）

「最優秀賞」に続き、有機農業をはじめとする環境保全型農業の実践、経営の確立、地域の有機資源の利活用、消費者との交流、食育の充実、地域活性化への貢献及び環境保全型農業に取り組む農業者支援等に積極的に取り組んでいる点などを評価して14点を選定した。

◎ 奨励賞

環境保全型農業及び有機農業に積極的に取り組んでおり、今後の一層の取組強化が期待される点などを評価して24点を選定した。

◎ 特別賞

高等学校において新規就農者の確保や後継者育成などの観点から、今後の環境保全型農業・有機農業の拡大・推進に資する判断される点などを評価して2点を選定した。

以上

## 第 18 回環境保全型農業推進コンクール 受賞者一覧

表彰	ブロック	都道府県	名称
大賞（農林水産大臣賞）			
計 2 点	東北	秋田	ポークランドグループ 代表 豊下 勝彦
	九州・沖縄	福岡	合鴨家族 古野農場
最優秀賞（農林水産省生産局長賞）			
計 6 点	北海道	北海道	有限会社 大牧農場
	東北	青森	常盤村養鶏農業協同組合
	東北	山形	志藤 正一
	近畿	滋賀	老蘇地域集落営農連絡協議会
	中国・四国	愛媛	長尾 見二
	九州・沖縄	大分	株式会社 高橋製茶
優秀賞（全国環境保全型農業推進会議会長賞）			
計 12 点	東北	宮城	あさひな農業協同組合
	関東	茨城	農業生産法人 株式会社 大嶋農場
	関東	茨城	生活協同組合 パルシステム茨城
	関東	群馬	有限会社 よしもと農場
	関東	千葉	有限会社 おかげさま農場
	関東	静岡	富士宮農業協同組合 荒茶共販部会
	近畿	京都	京都生活協同組合
	近畿	大阪	堺グリーンクラブ
	中国・四国	広島	神石こだわり農場
	中国・四国	高知	安芸市施設園芸品消費拡大委員会
	九州・沖縄	長崎	北村 誠
	九州・沖縄	沖縄	沖縄県農業協同組合具志川支店 グァバ生産部会
優秀賞（全国農業協同組合中央会会長賞）			
計 2 点	北陸	福井	越前市 越前たけふ農業協同組合
	東海	愛知	J A 愛知西なす協議会
奨励賞（全国環境保全型農業推進会議会長賞）			
計 24 点	東北	山形	農事組合法人 いずえむ
	東北	福島	会津みなみ農業協同組合 花卉連絡協議会
	関東	栃木	「ふゆみずたんぼ実験田」推進協議会
	関東	神奈川	向丘農産物流通組合
	関東	山梨	笛吹農業協同組合境川支所 青果部会

奨励賞(全国環境保全型農業推進会議会長賞) 続き	関東	長野	米沢地場産物直売所協議会
	北陸	新潟	農事組合法人 龍水みなみがた
	北陸	新潟	宮尾農園 宮尾浩史
	北陸	富山	有限会社 カンダファーム
	北陸	石川	今井 清博
	東海	岐阜	田上農園
	東海	三重	農事組合法人 土実樹
	東海	三重	伊賀有機農業推進協議会
	近畿	京都	京都やましろ農業協同組合精華町支店 青ト部会
	近畿	兵庫	高畑地区農業団体
	近畿	奈良	菊井果樹園
	近畿	和歌山	紀南農業協同組合「霧の精」栽培グループ
	中国・四国	岡山	東備畜産研究会
	中国・四国	徳島	小松島市生物多様性農業推進協議会
	中国・四国	香川	石野営農集団
	中国・四国	愛媛	エコラブ蔵川グループ
	九州・沖縄	長崎	佐護ヤマネコ稲作研究会
	九州・沖縄	熊本	山江ほたる清流米生産組合
	九州・沖縄	宮崎	一心園
	特別賞(全国環境保全型農業推進会議会長賞)		
計 2点	北海道	北海道	北海道名産産業高等学校
	九州・沖縄	佐賀	佐賀県立高志館高等学校

合計 48点

第18回環境保全型農業推進コンクール審査委員会 審査委員

(50音順・敬称略)

氏名	所属・役職
松本 聰 (委員長)	一般財団法人 日本土壌協会 会長 東京大学 名誉教授
あん・まくどなるど	上智大学大学院 地球環境学研究科 教授
内山 和夫	日本生活協同組合連合会 会員支援本部 産直グループマネージャー
大西 茂志	全国農業協同組合中央会 常務理事
佐々木 陽悦	農業者 全国エコファーマーネットワーク会長
中島 紀一	茨城大学 名誉教授

## 第18回環境保全型農業進コンクール 表彰式日程

ブロック	日時	会場
北海道	3月13日(水) 13:00～	J A北農ビル 19階特設会場 住所：北海道札幌市中央区北4条西1丁目 (表彰式に引き続き、事例発表、基調講演等が行われます。)
東北	3月13日(水) 13:00～	仙台合同庁舎 8階講堂 住所：仙台市青葉区本町3-3-1 (表彰式に引き続き、事例発表、講演等が行われます。)
関東	3月12日(火) 13:30～	さいたま新都心合同庁舎 2号館 5階共用大研修室 5A 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 (表彰式に引き続き、事例発表会が行われます。)
北陸	3月4日(月) 13:00～	金沢広坂合同庁舎 1階大会議室 住所：金沢市広坂2丁目2番60号 (表彰式に引き続き、事例発表、講演に併せ有機農産物の展示会、相談会等が行われます。)
東海	3月13日(水) 14:00～	東海農政局 局長室 住所：名古屋市中区三の丸1-2-2 (表彰式に引き続き、意見交換会等が行われます。)
近畿	3月21日(木) 13:30～(予定)	京都市内ホテルを予定 住所：京都市市内 (表彰式に引き続き、事例発表、講演が行われます。)
中国・四国	3月15日(金) 13:00～	ピュアリティまきび 孔雀の間 住所：岡山市北区下石井2-6-41 (表彰式に引き続き、基調講演、パネルディスカッションが行われます。)
九州・沖縄	3月14日(木) 13:00～	熊本地方合同庁舎(1階)共用会議室 住所：熊本市春日2丁目10番1号 (表彰式に引き続き、基調講演、事例発表が行われます。)